

『さしすせそ』(9月11日配信)

こんにちは！

手話を新たに学ぶ人が、手話の指文字を学ぶときに必ず驚くのが、さ行です。

さしすせその、「さ」はアルファベットのSを意味しています。Sには見えないかもしれませんが、そうなんです。「し」は、いち、に、さん、し、ご、ろく、しちでしです。「す」はカタカナ表記でスに見えるところからすを表します。「せ」は、5本指で一番背が高いからせを表します。せを表すときにどうしても向きを間違える人がいます。向きを間違えると別の意味になるのでご注意ください。「そ」は、その指差しからきています。学び始めると、必ず「せ」でびっくりします。